

各会議等の実施状況報告について	提出日	令和5年7月25日(火)
	担当課	スポーツ・生涯学習課
会議名称	湖西市青少年問題協議会	
開催日時	令和5年6月22日(木) 15:25~16:25	
開催場所	市民活動センター2階 大会議室	
出席者	委員15名、事務局5名【計20名】 ※傍聴者なし	
<b>1 開 会</b>	委嘱状伝達	
<b>2 あいさつ</b>	会長(市長)	
<b>3 会議録署名人選出</b>	会長より 浜名湖青年会議所代表、白須賀中学校長の2名を指名し、委員により承認	
<b>4 副会長選出</b>	委員互選により、自治会連合会長を選出	
<b>5 議事</b>	<p>(1) 令和4年度湖西市青少年問題協議会 活動報告 事務局説明 [質問・意見なし]</p> <p>(2) 令和5年度湖西市青少年問題協議会 活動計画 事務局説明 [質問・意見なし]</p> <p>(3) 各団体の活動状況等</p> <p><b>【湖西警察署】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昨年の湖西署管内の青少年の検挙数は13件。刑法犯10件、特別法犯3件。</li> <li>・ 同時期の湖西署管内の青少年補導件数は65件。湖西署管内は、比較的治安のいい地区と言える。</li> <li>・ 市内で補導された青少年の傾向は、深夜徘徊と喫煙で全体の9割を占めている。場所は、コンビニの駐車場と公園が多い。時間帯は、深夜0時前後が多い。</li> <li>・ 闇バイトにより、特殊詐欺や強盗などの犯罪に手を染める若者が増えている。慎重に行動するよう青少年に呼びかけてほしい。</li> </ul> <p><b>【市内小学校】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ どの学校も落ち着いた状況。</li> <li>・ 発達支援が必要な子供への対応で苦慮している。特別支援学級は8名で1クラスだが、1人の先生で受け持つのは大変。</li> <li>・ コロナの影響で不登校の子どもが少しずつ増えている。</li> </ul> <p><b>【市内中学校】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ コロナへの対応が変化し、学校行事がコロナ前に戻りつつある。</li> <li>・ 依然としてマスクの着用率が高く、登下校中や授業中もほとんどの生徒が着用。これから熱中症の心配もあるので、併せて指導していきたい。</li> <li>・ 課題としては、不登校の対応と外国人生徒への対応。</li> <li>・ 不登校の理由は、多様化、複雑化している。修学旅行等、学校行事への参加を機に改善が見られる生徒、環境を変えるために転校する生徒等、個別に対応している。</li> <li>・ 外国人生徒は、日本語の初期適応指導が必要なレベルの生徒への対応に苦慮。日本語支援員やポケットを活用。</li> </ul> <p><b>【市内高等学校】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2校とも学級減となり、生徒数が減少。</li> <li>・ 3年前の休校期間があった年は、校則違反や万引き、喫煙等があり、生徒指導が大変だった。</li> <li>・ 予防する生徒指導として「私服デー」や「ナイス挨拶デー」など、各学校の特色を生かして運営している。</li> <li>・ 一番の課題は生徒募集であるので、学校としての魅力を発信していきたい。</li> </ul>	
	(次頁につづく)	

### 【その他団体代表】

- ・昔に比べると、あいさつをしてくれる子が少なくなっている。一方、出会う度に何度もあいさつをしてくれる子もいる。学校でもあいさつ運動を進めてほしい。
- ・コロナの影響で研修や視察等が制限されている。対面でないと中身が見えにくい。
- ・各地域に、地域住民の困りごとを相談機関につなぐ「民生委員」がいるが、定年延長に伴い民生委員になる年齢もあがり、1期、2期で交代するため、誰が現在の民生委員なのか地域の人知らない地区もある。
- ・青少年育成センターが行っている青少年補導では、コロナでの行動制限中は、人に出会う機会が少なく、もう必要ないのではないかという意見もあったが、パトロールすることで、青少年だけでなく一般の人にも防犯効果があるので継続する。
- ・コロナが落ち着いてきたことで、青少年育成事業としてイベントを計画しても人の動きが戻ってきているため、事業を継続していきたい。

### (4) 意見交換・質疑

- ・「あいさつをする子どもが少なくなった」という話があったが、あいさつ運動をしても、声をかけ、顔を見て、目が合っても何も言わない子もいてさみしく感じる。
- ・クリーン作戦など、ごみを減らす活動への参加人数も減っている。
- ・子どもたちが生活の中で、外に出て、大声で遊んだりする機会が減り心配に感じる。
- ・マスクをしているために、あいさつをされても声を発しにくいこともあるし、市内で不審者情報が出ることで、あいさつの声を掛けられても、警戒して子どもたちが離れてしまうこともある。
- ・それぞれの立場で、子どもたちが安心して生活できるようかわっていききたい。

## 6 閉会

以上